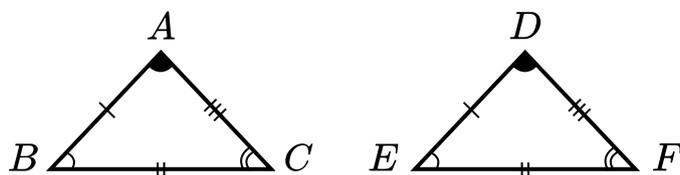


## 【 合同な図形 】

- ・ 2つの図形がぴったりと重なるとき、その2つの図形は**合同である**という
- ・ **合同な図形**は、対応する**線分の長さ**や**角の大きさ**は**等しい**
- ・ 2つの図形が合同であるとき、記号  $\equiv$  を使って表す

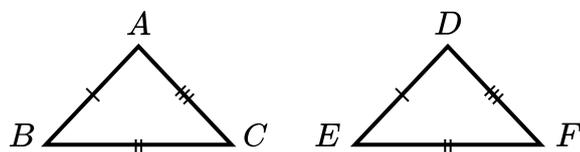
(例)  $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$



## 【 三角形の合同条件 】

- ① **3組の辺**がそれぞれ等しい

$$AB = DE, BC = EF, CA = FD$$



- ② **2組の辺とその間の角**がそれぞれ等しい

$$AB = DE, BC = EF$$
$$\angle ABC = \angle DEF$$



- ③ **1組の辺とその両端の角**がそれぞれ等しい

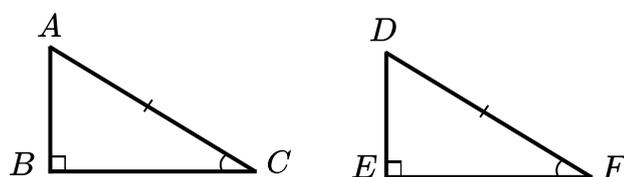
$$BC = EF$$
$$\angle ABC = \angle DEF, \angle ACB = \angle DFE$$



## 【 直角三角形の合同条件 】

- ① **斜辺と1つの鋭角**がそれぞれ等しい

$$AC = DF, \angle ACB = \angle DFE$$



- ② **斜辺と他の1辺**がそれぞれ等しい

$$AC = DF, AB = DE$$

